



まごころ便り

令和8年5月8日
荒川区立第七中学校
学校だより 5月号
校長 佐藤 正敏

学びとは何か

荒川区立第七中学校
校長 佐藤 正敏

新しい環境にも慣れつつ、少しずつ疲れも出始める時期です。連休明けの登校日、そして迎える5月のこの時期、生徒たちは次なる目標を掲げて、新たな一步を踏み出そうとしていることでしょう。連休中、部活動の大会や練習に励んだ生徒も多いかと思います。そこで得た気づきや悔しさ、学んだことをこれからの活動に活かそうとする、そんな前向きな気持ちを大切に過ごしてほしいと願っています。

さて、先日のPTA合同委員会、部活動保護者会でもお伝えしましたが、本校の校庭や校門が映画のロケ地となりました。高田郁さんの小説「星の教室」の映画化に伴う撮影です。夜間中学校を舞台にしたこの物語は、年齢も境遇も異なる人々が「学び」を求めて集う姿を描いています。4月29日に、1日かけて撮影が行われました。5月10日に2回目の撮影を予定しています。

この原作の中で、主人公・潤間さやかは、「学び」の本質について、ある答えにたどり着きます。

『学び』とは誰にも奪われないものを自分の中に蓄える、ということ・・・。
誰のためでもない、自分のために。自分の人生のために。

学びとは何か、何のために学ぶのか、その答えは人によって様々でしょう。しかし、突き詰めていくと目指すところは共通している気がします。知識や経験という「誰にも奪われない宝物」を自分の中に育て、自分の人生を自分らしく切り拓いていく力へと。

この5月、生徒の皆さんには、学びが本当の意味で、自分自身のものとなるよう日々の授業や行事、部活動に丁寧に向き合ってもらえればと思います。



本校の校門が、映画『星の教室』の世界に



【離任式】

4月24日（金）、本校体育館で離任式を開催し、3名の先生方をお迎えしました。代表生徒が花束を贈呈し、これまでの感謝の気持ちを込めてスピーチを行いました。先生方には、在校生全員で校歌を合唱し、その歌声を聞いていただくことで、心温まる送る言葉といたしました。これまでのご指導、ご支援に心より感謝申し上げます。新しい場所でのご活躍をお祈りしています。



【ご出席いただいた先生方】

荒川区立原中学校校長	千葉 貴	先生
逗子市立逗子中学校	中野 英	先生
板橋区立中台中学校	花形 亜葵	先生

【七中剣道部の紹介】

本校の剣道部は、現在8名の部員で活動しています。少人数ながらも、外部コーチ2名（全員有段者）と本校の教員2名（いずれも有段者）がしっかり指導にあたり、礼儀を重んじながら技術向上に励んでいます。

活動は週に2回、放課後の体育館で稽古を行っています。

現在は5月2日に行われる春季ブロック大会出場に向けて、日々練習に励んでいます。



【今後の予定】

5月12日(火)オーケストラ鑑賞教室(第2学年)
5月13日(水)荒川教育研究会(教員)
5月15日(金)生徒総会
5月22日(金)英検
5月27日(水)運動会予行
5月29日(金)運動会準備
5月30日(土)運動会
5月31日(日)運動会予備日
6月 1日(月)振替休日